

アルファベットの起源となる言語について

前カイロ日本人学校 教頭

山口県防府市立富海中学校 教諭 福井 貴己

キーワード：英語教育，アルファベット，エジプト，総合的な学習の時間

1. はじめに

カイロ日本人学校へ派遣していただき、英語教師として以前から気になっていた「アルファベットの語源の言語」について、考える機会ができ、本当にうれしく思っている。拙い研究実践であるが、その概略を紹介したい。

2. 研究のねらい

この調査・研究を通して、アルファベットの起源となる言語について、中学生に指導する際の一助としたいと考え、テーマを設定した。

エジプト・カイロには考古学博物館やギザのピラミッドなどの世界遺産の数々があるが、その中に、アルファベットに関連する碑文があるのではないかと考え、その調査・研究を行っていった。成果をまとめ、それらを実際に授業の一場で紹介し、アルファベットへの意欲・関心を高めることができるのではないかと考えた。

3. 研究内容

(1) 実地調査

①カイロ考古学博物館

カイロにある考古学博物館には、シナイ半島で発掘されたアルファベットの原形とされる文字の彫り込まれた碑文が残されている。博物館の規則で、写真に収めることができなかったが、これらの貴重な資料はアメリカの大学の研究機関でデータ化されており、実際にそのデータベースでの検索が可能であることがわかった。

では、考古学博物館ではどんな展示物があるのかを調査した。

1階に碑文があった。(35～45展示室) 具体的には、原シナイ文字、ヒエログリフ、象形文字の碑文が展示してあった。2階には、パピルスや陶器のかけらに書かれた文字がある。具体的には、コプト文字、ギリシャ語、ヘブライ語、イスマリア語、当時使われた道具やインク等といったものまで展示してあった。



図1 セム族のアルファベット

②ワディエルホル

最近の研究では、シナイ半島で発掘された碑文よりも、もっと古い碑文でアルファベットの原形の言語であるとされる西セム語の碑文がルクソールの先のワディエルホルという谷で発掘された。この場所へ行き、実地調査をしようと考え、遺跡庁などと連絡を取り、許可までは出たのだが、平成23年1月に起こったエジプト政変以降、治安の悪化により、実地調査が不可能となってしまった。

このワディエルホルのワディとはアラビア語で「谷」を表し、実際に行こうとしていたワディエルホルは、車で行くことができないような場所で、ルクソールかららくだで3日間山や谷を越えないと行くことができないよ

うなかなり奥深いところにあることが、現地のスタッフの話からわかった。

(2) 文献調査

文献調査では、言語以前では、様々な会計にかかわる文字等が発明されたが、エジプトのヒエログリフが具体物から文字への移行を進める大きなきっかけとなったことがわかった。ただ、アラビア語とその起源であるヒエログリフ、アルファベット起源の言語であるとされる西セム語との関係においては、これからの研究を待つ必要がある。

①文献より分かったこと

ヒエログリフは子音が起因した言語で、アラビア語はこの影響を受けて成り立っている。アラビア語のアリフは牛の頭、バーは家の形を表し、a, bの成り立ちと大きく関係していることが文献等を読むことによりわかった。エジプト各地の神殿に描かれているヒエログリフには、様々な文字が表現されているが、そのうち牛の頭と家の形についてはどの神殿でも、同じ形をしており、さらに家の形の中で、わらの家については普通の家の構え以上に描写が付け加えてあった。

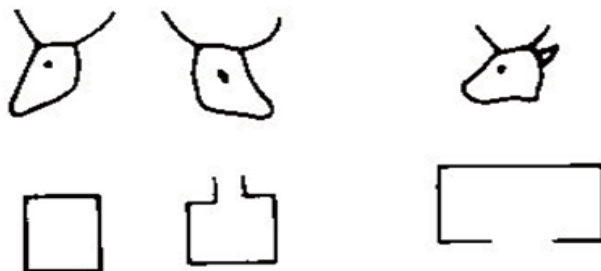


図2 原シナイ記号の牛（左2つ）とエジプト文字の牛（右）、原シナイ記号の家（左2つ）とエジプト文字の家（右）

4. 総合的な学習の時間での実践より

当初の計画では、JICAのプロジェクト（大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト）の見学等の中に、アルファベットの起源となる言語について、学習をする予定であったが、平成23年1月に起こったエジプト政変以降、治安の悪化等の事情により、実践が不可能となってしまった。

ただ、カイロ考古学博物館への見学はできたので、その際の実践を紹介したい。

中学部 考古学博物館 アルファベットの起源となる文字の碑文見学について

1 目的

エジプトにあるアルファベットの起源となる文字が書かれている碑文の現物を見て、自分たちが学んでいる英語のものが 実際どうなっているのかを知る機会とする。

エジプトの文字の歴史を学び、より一層エジプトの文化や歴史を知る機会とする。

2 期日 平成22年12月1日（水）

3 日程

8:20 中庭集合・学校出発

9:00 考古学博物館到着

9:00～11:30 考古学博物館にて碑文の見学 説明を聞く その後館内見学

11:30～12:00 昼食 博物館カフェテリアにて

12:00 考古学博物館出発

12:50 学校到着

4 移動手段 学校スクールバス

5 経費 考古学博物館入場料 生徒一人 30エジプシャンポンド

- 6 参加者 校長 中学部担任3名 現地スタッフ1名 中学部生徒6名 (計11名)
- 7 持参物 水筒, 弁当, 事前学習資料, 筆記用具, 飲み物代5ポンド程度
- 8 事前学習 11月30日 5校時
- 9 まとめ 12月1日 5・6校時

考古学博物館見学内容

- ・ 1階 碑文見学 (35～45展示室) 原シナイ文字, ヒエログリフ, 象形文字の碑文
- ・ 2階 パピルスや陶器のかけらに書かれた文字 コプト文字, ギリシャ語, ヘブライ語, イスマリア語
当時使われた道具やインク等

生徒の感想より

- ・ 実際にエジプト国内で, アルファベットの起源となる言語の碑文を見学することができて, 本当によかった。言葉を大切にしなければと思った。
- ・ 最初は「本当にエジプトがアルファベットの起源なのか?」と半信半疑だったが, 考古学博物館の方の話を聞きながら, 言葉が今の私たちに伝える手段として大切なのだということを改めて気づくことができた。エジプトの昔の人々はすごいと思った。
- ・ 文字をいろいろ見ていると, 縦書きのものもあれば横書きのものもあった。石に彫り込んでいるものからパピルスや紙にペンを使って書けるようになっていくにつれて, 文字がどんどん変化して, 言葉もどんどん変わっていくことがわかった。

5. 英語科の指導において

紙面の関係で一部となるが, 英語科の指導において, アルファベットの起源となる言語について指導実践したものを紹介する。

- 1 文字以前の言語について説明する。
- 2 アルファベット文字の始まりについて説明する。
紀元前1700年前 アラビア半島からワディエルホルへ
(ルクソールの先の谷の中)
- 3 実際の碑文の写真を見る。(牛の頭や家の形)
- 4 ワディエルホルで見つかった碑文の写真を見る。



図3 ワディエルホルで発見された碑文より



5 これらの文字からアルファベットへと変わっていく文字の変化を知る。

図4 エジプト語からセム語, フェニキア文字, ギリシャ文字, ローマ字へと変化した様子。(牛の頭)

6. おわりに

本来なら, カイロ考古学博物館の内部の様子の写真を載せたかったのだが, 許可を頂けず, 十分な報告ができな
いことを申し訳なく思う。また, エジプト政変という中で, 教育活動が制限されたので, 予定をしていたJICAのプ
ロジェクトの見学等ができなかったことが悔やまれるが, 今後きっと, カイロ日本人学校にてこのような実践が続
けられ, より一層アルファベットの起源となる言語について, 研究が深まっていくものと祈念している。

なお, この実践記録をまとめるにあたり, カイロ日本人学校職員 中村恭子様, パキナム様, エザート様にご協
力を頂いたことを感謝申し上げたい。また, 前考古庁長官ザヒ・ハワース博士やカイロ大学教授イブラヒム・ファ
ウジー様にも様々な情報を頂いたことに感謝申し上げたい。

参考文献

Joseph Naveh, 1982 Early history of the Alphabet, The Hebrew University

Andrew Robinson, 1995 The Story of Writing, Thames and Hudson Ltd.

John F. Healey, 1990 The Early Alphabet, British Museum Press